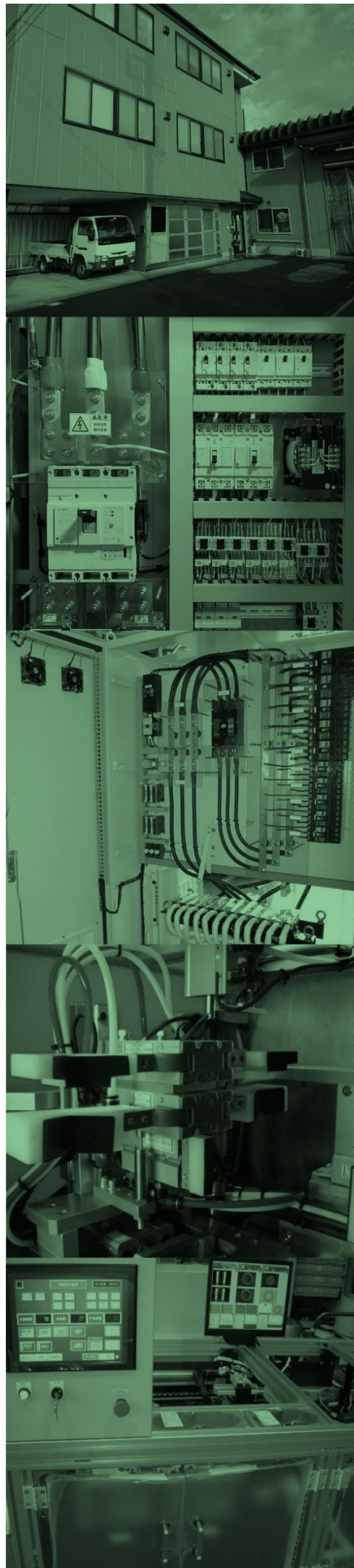




エコアクション21
認証番号 0013593



2 0 2 5

環境活動レポート

活動期間

2024年1月1日～2024年12月31日

株式会社
森電機製作所
MORIDENKISEISAKUSHO



<https://mordenki-ss.com>

目 次

I. 組織の概要		P 1
II. 実施体制		P 2
III. 環境経営方針		P 3
IV. 環境経営目標		P 4
V. 環境経営計画		P 5
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標		P 6
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画		P 7
VIII. 当社の取組み		P 8
◆地域との融合◆		P 9
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果		P 10
X. 代表者により全体の評価と見直し・指示		P 11

I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社森電機製作所
2. 代表者氏名 森 建夫
3. 所在地 本社： 静岡県富士市津田町211番地の1
4. 事業活動 電気機器製造（配電盤、分電盤、制御盤等 設計製作）
建設業（電気工事業）（電気通信工事業）
5. 従業員数 11名
6. 環境管理責任者 森 万里江
7. 連絡先 TEL (0545) 53-0678 FAX (0545) 52-1459
E-mail: moridenki-ss@uv.tnc.ne.jp
8. 建設業許可
建設業
静岡県知事許可（般-2）第 22510 号
許可業種：電気工事業（最初の許可：昭和62年1月10日）
許可年月日：2021年1月10日 有効期限：2026年1月9日

許可業種：電気通信工事業（最初の許可：令和4年9月26日）
許可年月日：2022年9月26日 有効期限：2027年9月25日

9. 事業の規模

- ① 設立（現在地） 1984年1月
- ② 事業規模

活動規模	単位	2020年	2023年	2024年
売上高	百万円	152	202	228
従業員	人	9	11	11
事務所休憩所床面積	m ²	182.53	182.53	182.53
工場・作業所床面積	m ²	123.52	123.52	123.52
倉庫	m ²			232.75

*倉庫は2025年3月運用開始

10. 事業年度

1月1日～同年12月31日

11. レポートの運用期間及び発行日

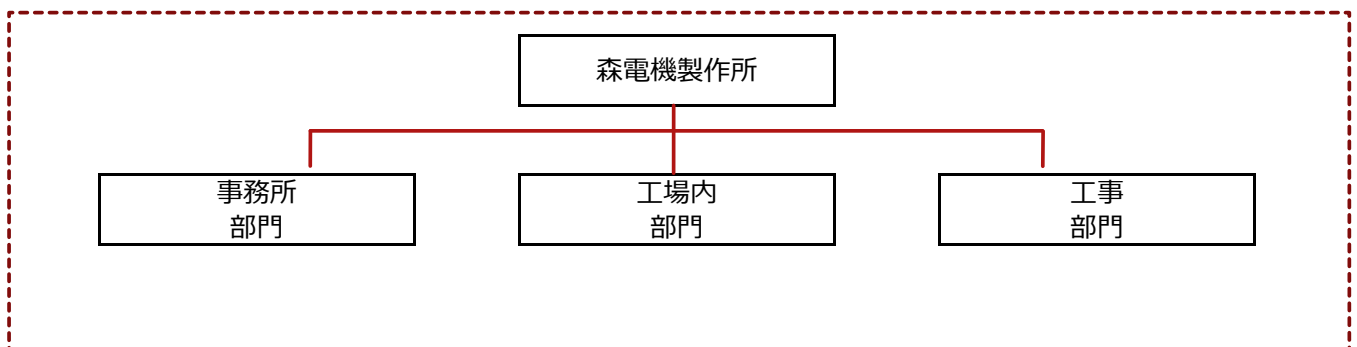
環境経営レポート運用期間（2024年1月1日～2024年12月31日）

環境経営レポート発行日（2025年3月14日）

12 認証・登録の対象範囲

活動：全社・全活動

対象組織：本社工場

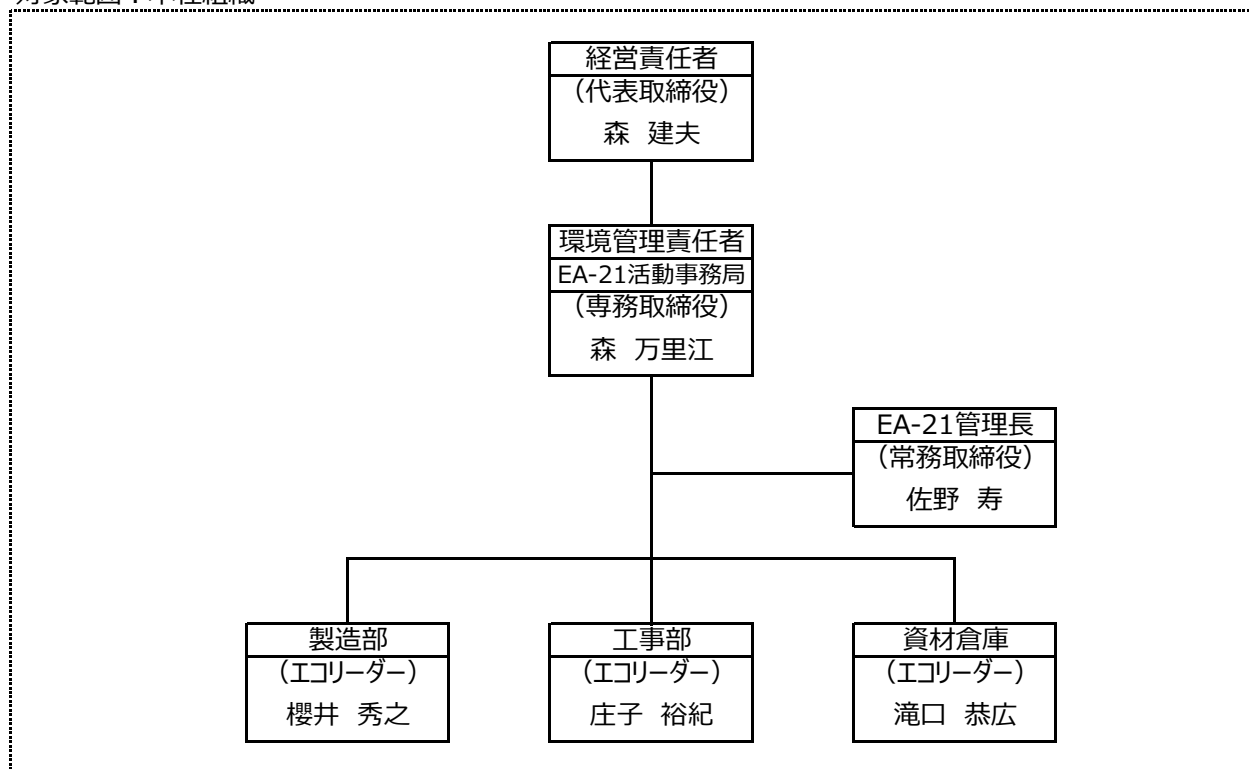


Ⅱ 実施体制

作成日：2024年1月6日

作成者：森 万里江

対象範囲：本社組織



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑥ 全体の評価と見直し
- ⑦ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告
- ⑤ 文書・記録の管理

EA-21活動事務局・EA-21管理長

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行・訓練の実施

各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

Ⅲ 環境経営方針

《環境理念》

株式会社森電機製作所は、創業以来培ってきたノウハウを生かし、各所装置、制御盤、配電盤、操作盤等の各種盤製造業務、また電気工事業務を通じて、積極的に環境に配慮した事業活動に努め、継続的な地域環境の保持・改善活動を目指します。

《環境方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ① 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます。
 - ② 分別等による再資源化を目指し、混合廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ③ 節水改造により水使用量の削減に努めます。
 - ④ グリーン商品の調達活動に取り組みます。
 - ⑤ 清掃美化活動地域貢献に努めます。
 - ⑥ 環境に配慮した工事業務に取り組みます。
 - ⑦ 人材育成による継続的な事業発展に取り組みます。
- 2 環境に関する法規制を遵守致します。
- 3 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。
- 4 また、社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます。

制定年月日 2021年11月 1日

改定年月日 2022年 1月 5日

株式会社森電機製作所
代表取締役 森 建夫

IV 環境経営目標

1. 運用期間（2024年1月～2024年12月）の環境目標

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2020年1月～ 2020年12月	2024年1月 ～ 2024年12月	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量（事務所・工場・現場）		kg-CO ₂	25,092	-2.0%	24,590
内訳	電力	kWh	24,672	-2.0%	24,179
	ガソリン	L	2,240	-2.0%	2,195
	軽油	L	2,659	-2.0%	2,606
	灯油	L	726	-2.0%	711
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	630.00	-2.0%	617.40
	産業廃棄物排出量（混廃BOX）	t	6.00	-2.0%	5.88
	産業廃棄物排出量（廃プラ）	kg	50.00	-2.0%	49.00
	産業廃棄物排出量（廃蛍光管）	kg	13.00	-2.0%	12.74
	産業廃棄物排出量（金属くず）	t	4.90	-2.0%	4.80
水道使用量		m ³	96.00	-2.0%	94.08
事務用品等のグリーン購入の推進		品目			2品目
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事への取り組み	件			12件
	地域貢献活動	件			6回
労災事故防止	対象期間中発生を0にする	件			0

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－2018年度実績－ 2021.1.7環境省・経済産業省公表の東京電力㈱の調整後の排出係数である0.455(kg-CO₂/kWh)を使用した。

2. 中期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			2020年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
			2020年1月～ 2020年12月	2023年1月～ 2023年12月	2024年1月～ 2024年12月	2025年1月～ 2025年12月	2026年1月～ 2026年12月	2027年1月～ 2027年12月
二酸化炭素排出量（事務所・工場・現場）		kg-CO ₂	25,092	-1.5%	-2%	-2.5%	-3.0%	-3.5%
内訳	電力	kWh	24,672	-1.5%	-2%	-2.5%	-3.0%	-3.5%
	ガソリン	L	2,240	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
	軽油	L	2,659	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
	灯油	L	726	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	630	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
	産業廃棄物排出量（混廃BOX）	t	6.00	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
	産業廃棄物排出量（廃プラ）	kg	50.00	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
	産業廃棄物排出量（廃蛍光管）	kg	13.00	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
	産業廃棄物排出量（金属くず）	t	4.90	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
水道使用量		m ³	96.00	-1.5%	-2%	-2.5%	-2.0%	-3.5%
事務用品等のグリーン購入の推進		品目		2品目	3品目	4品目	5品目	6品目
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事への取り組み	件		11件	12件	13件	14件	15件
	地域貢献活動	回		6回	6回	6回	6回	6回
労災事故防止	対象期間中発生を0にする	件		0件	0件	0件	0件	0件

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－2018年度実績－ 2021.1.7環境省・経済産業省公表の東京電力㈱の調整後の排出係数である0.455(kg-CO₂/kWh)を使用した。

V 環境経営計画

(運用期間：2024年1月～2024年12月)

目標	区分	項目	責任者	担当者	活動項目	スケジュール											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	佐野	佐野	① 消灯の徹底（休憩時、不要時）												
					② 人員の配置場所のみに照明												
					③ 消費電力を抑えたLED照明に交換 9台（工場）				4月中								
		空調	森	櫻井	① エアコンの適正温度設定化												
					② クールビズ、ウォームビズ												
					③ 業務用エアコン簡易点検			3月中		6月中							
					④ 使用していない部屋の空調停止												
					⑤ 新規空調設備導入								3F		2F		
		その他	森	森	① 複合機の省エネ設定												
					② OA機器未使用時OFF												
					③ ブラインドやカーテンの利用等による熱の出入りを調整												
	ガソリン・軽油	社用車	佐野	佐野	① 車両の走行距離と給油量の記録												
					② エコドライブの徹底												
					③ 日常・定期点検の実施												
					④ 重量削減												
					⑤ 相乗りの実施												
					⑥ 燃費、環境性能に優れた小型トラックへの代替え	納車予定											
		重機	佐野	庄子	① アイドリングストップ												
					② 省エネ重機の使用												
	灯油	ストーブ	森	全員	① こまめな温度調整をする												
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	事務所	森	森	① コピー用紙の両面使用												
					② 集約化購買												
					③ パソコン印刷プレビュー活用												
					④ 段ボール・古紙のリサイクル												
					⑤ ビニール、プラごみの分別リサイクル												
	産業廃棄物	工場	佐野	佐野	① 廃棄物の分別化（素材ボックスの設置）												
					② 電線・ケーブルの分別、リサイクル												
					③ 整理整頓による見える化												
					④ 混廃BOXの管理												
					⑤ 再資源化率70%以上												
水道使用量	上水		森	滝口	① 節水の周知徹底												
					② 水道配管からの漏水を定期的に点検												
					③ 清掃時・手洗い時の節水												
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事への取組	事務所	森	森	① エコ電線、ケーブルの使用												
					② LED照明の販売による、電気料金節約のPR												
	保管スペース	倉庫	森	森	① コピー用紙、印刷物、パンフレット、トイレトーパー、名刺等の紙について、再生紙への転換												
					② 新倉庫設立による保管スペースの確保											完成予定	
労災防止計画			森	滝口	① 労働安全月間安全講習会の開催	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
					② 労働災害防止の為の手順確認	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
					③ 定期的な健康診断の実施												
					④ 健康診断の結果に基づき、適切な健康指導の措置												
					⑤ 労働時間管理の工夫と過重労働の防止策												
地域貢献			森	森	① 近隣道路美化活動（富士クリーンパートナー）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
					② 赤十字救急救急員 講習会参加											受講予定	
					③ アートレンタル（3か月毎 社会福祉法人）			交換			交換			交換			交換

VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間（2024年1月～2024年12月）の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2020年1月 ～ 2020年12月	2024年1月 ～ 2024年12月				
			基準値	目標 削減率	目標値	実績値	実績 削減率	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	25,092	-2.0%	24,590.10	23,378	-5%	○
内訳	電力	kWh	24,672	-2.0%	24,178.56	21,539	-10.9%	○
	ガソリン	L	2,240	-2.0%	2,195.20	1,392	-37%	○
	軽油	L	2,659	-2.0%	2,605.82	3,680	41%	×
	灯油	L	726	-2.0%	711.48	343	-52%	○
	一般廃棄物排出量	kg	630.00	-2.0%	617.40	260.00		
廃棄物排出量	産業廃棄物排出量（混廃BOX）	t	6.00	-2.0%	5.88	5.00		
	産業廃棄物排出量（廃プラ）	kg	50.00	-2.0%	49.00	59.00		
	産業廃棄物排出量（廃蛍光管）	kg	13.00	-2.0%	12.74	0.00		
	産業廃棄物排出量（金属くず）	t	4.90	-2.0%	4.80	3.56		
	水道使用量	m ³	96.00	-2.0%	94.08	97.00	3%	×
事務用品等のグリーン購入の推進		品目			3品目	10品目		○
環境に配慮した 自社の取り組み	環境配慮工事への取組	件			12件	13件		○
	地域貢献活動	件			6回	10回		○
労災事故防止	対象期間中発生を0にする	件			0	0	0%	○

<評 価>

電力/軽油/灯油	原因	燃料をガソリンから軽油に変更したトラックを導入したことで、ガソリンが減り軽油が増加しました
	是正処置	将来的に仕事の受注量により増減があることは否定的原因ではないが、省エネに努めます
水道使用量	原因	稼働率の向上により、使用量が増えました
	是正処置	来年度は年間を通して水道使用量の増加が見込まれるが、節水に努めます
環境に配慮した自社の取り組み	結果	① 現場撤去した材料も資源として活かすことができる取り組みができました
		② 太陽光発電の導入により、購入電力量を抑制できました

Ⅶ 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間：2024年1月～2024年12月)

目的	区分	項目	責任者	担当者	活動項目	評価		今後（次年度）の取組
						評価	内容	内容
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	佐野	佐野	① 消灯の徹底（休憩時・不要時）	○	掲示→徹底されている	継続実施
					② 人員の配置場所のみに照明	○	徹底されている	継続実施
					③ 消費電力を抑えたLED照明に交換（工場）	○	4月交換完了	導入済
		空調	佐野	櫻井	① エアコンの適正温度設定化	△	表示	継続実施
					② クールビズ、ウォームビズ	○	クール、ウォーム衣料支給	継続実施
					③ フィルター定期清掃	○	点検済	継続実施
					④ 使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
					⑤ 新規空調設備への代替え、及び導入	○	今年度導入済	新規取り組み
		その他	佐野	櫻井	① 複合機の省エネ設定	○	徹底されている	継続実施
					② OA機器未使用時 OFF	△	使用しないプラグを抜く	継続実施
					③ ブラインドやカーテンの利用等により熱の出入りを調整	○	徹底されている	継続実施
	ガソリン・軽油	乗用車・トラック・ホーク	佐野	佐野	① 車両の走行距離と給油量の記録	○	車両運行記録月報作成	継続実施
					② エコドライブの徹底	○	車内表示→徹底	継続実施
					③ 日常・定期点検の実施	○	目視点検	継続実施
					④ 重量削減	○	不要な荷物を積まない	継続実施
					⑤ 相乗りの実施	○	複数の車両を使わない	継続実施
					⑥ 燃費、環境性能に優れた小型トラックへの代替え	○	1月納車済	ガソリン車から軽油燃料車へ
	灯油	ストーブ	森	全員	① アイドリングストップ	○	施工計画反映	継続実施
					② 省エネ重機の使用	△	車両による	継続実施
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	事務所	森	森	① コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施
					② 集約化購買	○	リストアップしまとめて購入	継続実施
					③ パソコン印刷レビュー活用	○	徹底されている	継続実施
					④ 段ボール・古紙のリサイクル	○	徹底されている	継続実施
					⑤ ビニール、プラごみの分別リサイクル	○	徹底されている	継続実施
	産業廃棄物	工場	佐野	佐野	① 廃棄物の分別化（素材ボックスの設置）	○	分別基準と実施	継続実施
					② 電線・ケーブルの分別、リサイクル	○	徹底されている	継続実施
					③ 整理整頓による見える化	○	納品棚、通路の確保徹底	継続実施
					④ 混廃BOXの管理	○	分別により徹底できている	継続実施
					⑤ 再資源化率70%以上	○	達成されている	継続実施
水道使用量	上水		森	滝口	① 節水の周知徹底	○	掲示→徹底されている	継続実施
					② 水道配管からの漏水を定期的に点検	○	実施している	継続実施
					③ 清掃時・手洗い時の節水	○	掲示→徹底されている	継続実施
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事への取組		佐野	佐野	① エコ電線、ケーブルの使用	○	エコケーブルの選択	継続実施
	グリーン購入	事務所	森	森	② LED照明の販売による、電気料金節約のPR	○	照明交換工事受注中	継続実施
	保管スペース	倉庫	森	森	① コピー用紙、印刷物、パンフレット、トイレトペーパー、名刺等の紙について、再生紙への転換	○	実施している	継続実施
労災防止計画			森	滝口	① 新倉庫設立による保管スペースの確保	○	運用準備開始	継続実施
					② 労働安全月間安全講習会の開催	○	実施している	継続実施
					③ 労働災害防止の為の手順確認	○	作成されている	継続実施
					④ 定期的な健康診断の実施	○	受診済	継続実施
					⑤ 健康診断の結果に基づき、適切な健康指導の措置	○	保健師による健康講座受講	継続実施
地域貢献			森	森	① 労働時間管理の工夫と過重労働の防止策	△	勤怠管理システムの導入予定	新規取り組み
					② 近隣道路美化活動（富士グリーンパートナー）	△	年10回	継続実施
					③ 赤十字救急法救急員 講習会参加	-	実施が見送られた	継続実施
			森	森	③ 3か月毎のレンタルアート（社会福祉法人）	○	3か月毎	継続実施

<備考>

評価判定：○（良くできた） △（まあまあできた） ×（できなかった） -（実施が見送られた）

VIII 当社の取組み

◆環境経営計画内 設備投資◆



新倉庫完成
保管スペース確保



工場内 9台
LED照明に交換



低燃費トラック
買い替え



空調設備更新
(事務所2F、3F)

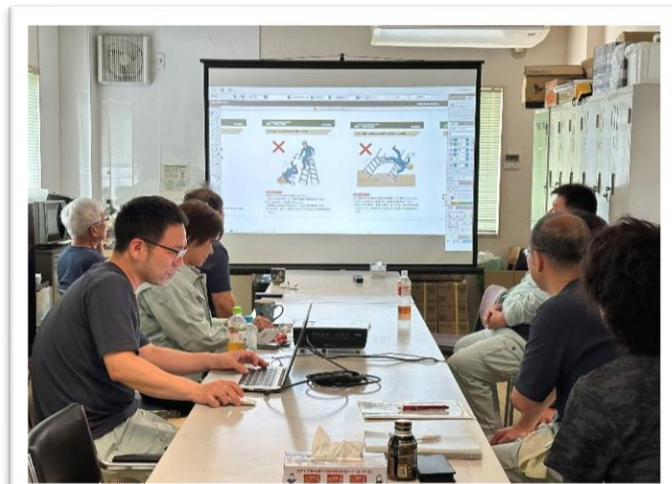
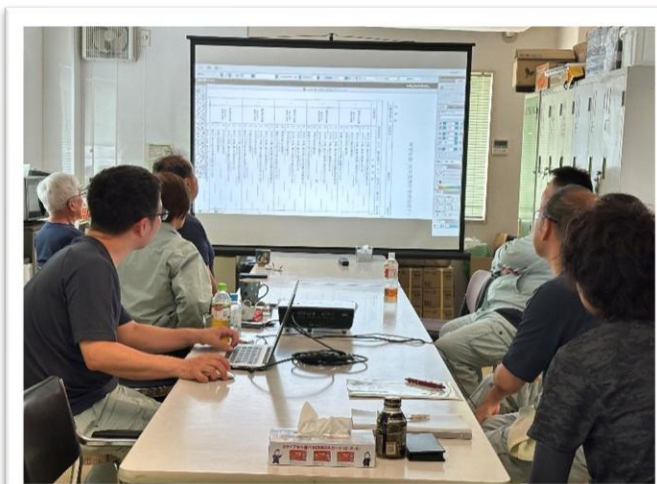


Ⅷ 当社の取り組み

◆保健師による健康への意識づけ◆



◆KY講習による安全管理の意識づけ◆



◆ふじクリーンパートナーとしての活動◆



近隣道路
清掃活動
2024.1～2024.12



IX 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年12月28日

評価者 環境管理責任者 森 万里江

法規・条例・規制			条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
義務	法律・条例	騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定（市及び自主検査）	該当なし
			第6条	特定施設の届出		該当なし
			第8条	特定施設の数等の変更届出	変更なし	該当なし
		振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	振動の測定（市及び自主検査）	該当なし
			第6条	特定施設の届出	金属加工機械（液圧プレス）	該当なし
			第8条	特定施設の変更等の届出	変更なし	該当なし
		廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
			第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
			第12条第2項	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置（60 c m×60 c m以上の大きさ）	○
			第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
			第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
			第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票：5年間保管	○
			第12条の3第6項	マニフェストの保管	B 2、D、E票：5年間保管	○
			第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6月30日までに報告書提出	○
			第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのD,E票の期間内返却	○
		消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	・市町村条例で定める ・指定可燃物・紙屑、プラスチック類等	○
			第11条	指定数量以上の危険物保管の届出	指定数量以上の危険物の保管の消防署への提出	該当なし
			第13条	危険物の取扱作業に関して保安の監督	危険物取扱者の設置	○
			第17条の3	消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○
		家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電（テレビ・冷蔵庫他）廃棄時のサイクル料金の支払	○
		自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）	第8条	使用済自動車の引渡義務		○
			第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払（廃車時）	
		フロン排出抑制法	第16条	冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検（3ヶ月に1回以上）実施	担当者が確認（記録の保管3年間）	○
			第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	○
		建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		該当なし
			第26条第1項	主任技術者の設置		○
			第26条第2項	管理技術者の設置		○
	静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務	該当なし	○
			第53条	騒音特定施設の届出	該当なし	○
			第55条	騒音特定施設変更の届出	該当なし	○
			第79条	振動基準の遵守義務	該当なし	○
			第80条	振動特定施設の届出	該当なし	○
			第82条	振動特定施設の変更等の届出	該当なし	○
		静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置		○
			第10条	委託先の実施確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
責務・努力	法令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
		リサイクル法（資源の有効な利用の促進に関する法律）	第4条	指定再資源化製品のリサイクル（適正廃棄）	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○
		グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）	第5条	事業者の責務（国等の施策への協力等）	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2025年3月14日

1・見直し 関連情報	項 目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます。
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 継続して取り組みます
	8 その他 ()	☐

2・代表者による 全体評価・見直し指示	◇ 未達成項目は軽油・水道使用量でした。今年度ガソリン車から燃費性能の良いトラックに買い替えた為、以前のトラックと比較して、ガソリンの使用量は減少しましたが、一方で軽油の使用量が増加しております。 ◇ 昨年度に太陽光発電システムを導入した結果、今年度の電力使用量が低減しました。 ◇ 新倉庫設立により、保管スペース及び作業スペースの拡充、ならびに整理整頓が可能なり、従業員がより働きやすい環境の実現を目指しております。 ◇ 廃蛍光管は、元受企業のリサイクル回収場に排出できたことが、減少の要因となりました。来年度以降も、評価の対象外とします。 ◇ 2020年度を基準値として売上高が1.5倍に増加し、材料仕入、受注件数も増加。これらの要因により商品梱包材や撤去材料の増加が確認され、廃プラスチック類排出量増加の要因となりました。 そのため、次回の環境経営レポートは、2024年度を基準とした環境計画を作成します。 ◇ 労働災害防止対策の一環として、従業員の健康管理を考え、年1回の定期健康診断の実施、保健師による健康講座の開催、また労働安全作業の勉強会も行っています。 2025年3月14日 株式会社森電機製作所 代表取締役 森 建 夫		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ ☒	
	2 環境経営目標	有・ ☒	
	3 環境経営計画	☒ ・無	新倉庫設立による保管スペースの確保と工場内作業スペースの拡張
	4 環境に関する組織（実施体制含め）	有・ ☒	
	5 その他のシステム要素	有・ ☒	
	6 その他（外部への対応）	有・ ☒	

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日：2025.1.15

作成者：森 万里江

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
作業中(社内、社外)	熱中症による体調不良	熱中症になりやすい環境・身体的・行動による要因	・社内講習会を開く ・熱中症の基本的なことを学ぶ ・実践による手当の基本を学ぶ 手順) ①・・・社内講習会を開く ②・・・急病に対する応急手当の必要性を知る ③・・・手当の基本を学ぶ

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2024.7.22	作業現場での体調不良	屋外作業	・社内講習・手当 ・労働安全等のDVD、YouTube動画などを視聴
参加者		全社員	
※評価			
2024.7.22 熱中症についての勉強会を開く(書籍、動画、KY講習)			
熱中症になる原因とは？			
①環境による要因・・・高気温・高湿度・炎天下・通気・無風・厚着など			
②身体的な要因・・・体調不良・糖尿病などの持病・肥満・運動不足など			
③行動による要因・・・激しい運動・長時間の炎天下での労働・水分補給がしにくい状況			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2024.7.22	作業現場での体調不良	労働災害	・講習会参加者による勉強会 ・熱中症対策の服装や飲料水、キットの準備 ・応急手当の必要性
参加者		全社員	
※症状の把握、熱中症対策と改善策			
2024.7.22 社内で、症状の把握・応急処置と屋外作業での対策と改善策について勉強会を開く。			
熱中症の症状を確認し、涼しい場所への移動、衣服を緩め、冷却キットを使って太い血管が通っている身体を冷やして体温を下げる。			
嘔吐がなく意識がある場合は、経口補水液・スポーツドリンク・塩タブレットと水を飲む。			
※検証結果			
近年、日本では猛暑日が増加傾向にあります。特に屋外作業もある作業現場では、熱中症による死亡リスクも高まり、その対策は喫緊の課題です。原因、予防策、応急処置、熱中症対策の重要性を再度考えたいと思います。			

環境上の緊急対策(熱中症について学ぶ:症状)

応急手当作成手順書

目的	熱中症は、早期発見と対処が重要。体調不良を感じた作業員のサインに注意し、早期発見・早期対処をすることを目的とする。
活動	もしも作業現場で熱中症で倒れている人を見つけた場合の対処としての応急処置をする(意識がある場合) ◎ 2人で行う搬出方法 ◎ 身体を冷やし、水分補給

熱中症の応急処置方法の3つのアクション

傷病者を発見	近くにいる人に知らせる。 傷病者の意識の有無をは確認 意識の無い場合は、119に通報	① 安全を確認し大声で知らせる！ ● 「傷病者です！」と大声で叫び、社内、周囲に知らせる。 ● 傷病者の観察、意識の有無を確認
傷病者の移動	担架を用いない搬送法	② 涼しい場所への搬送方法 ① 搬送人員が不足している場合や搬送資機材がない場合の緊急的搬送手段 ② 前後から抱えて搬送する方法(前屈2人搬送)
応急処置	安全な場所へ移動後の処置	③ 1～2名での対処方法 ① 服をゆるめる(靴、ベルト、ボタン)など緩めることで熱を放散。 ② 熱中症キットの瞬間冷却パックや濡れタオルを、首筋・脇の下・太ももの付け根に当てる。 ③ 水分補給。意識がある場合は、自分で飲んでもらう。 熱中症の時は、水分・電解質の補給が必要なため、経口補水液やスポーツドリンクを用意する。 【要注意】 無理に水分補給をさせない、水分・塩分補給に適さない飲み物を飲ませてはいけない

来年度以降の課題

- ・ 現場作業では、いつどこで負傷者が出るか予測できません。そのため、常に状況を的確に判断し、適切な応急処置が行えるよう安全講習を継続的に実施すること。

環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当: 森

NO.	情報入手日	情報種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容 (再発防止策)
					連絡先			
1	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要・不要	
2	／	対策 ・ 苦情	環境上のクレームはありませんでした。 2024年1月～2024年12月				必要・不要	
3	／	対策 ・ 苦情					必要・不要	
4	／	対策 ・ 苦情					必要・不要	
5	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要・不要	
6	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要・不要	
7	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要・不要	
8	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要・不要	
9	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要・不要	